

『T790M 陽性進行非小細胞肺癌患者における オシメルチニブ減量の治療効果と安全性についての後方視的検討』 に関する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『T790M陽性進行非小細胞肺癌患者におけるオシメルチニブ減量の治療効果と安全性についての後方視的検討』という調査、研究を行っています。この研究は、カルテに記載された情報を収集してまとめることによって行いますが、患者さんの個人情報については配慮しながら行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究の目的】 オシメルチニブは通常 80mg を使用しますが、副作用のために 40mg へ減量することがあります。減量により治療効果に影響がないかどうかを明らかにすることが、研究の目的です。

【研究の方法】

- 対象となる患者さん**：2016年4月4日から2017年6月30日の期間に近畿中央胸部疾患センターでオシメルチニブが投与された患者さまが対象です。
- 利用するカルテ情報**：患者様のカルテ等をもとに症状、治療内容、各種検査所見の調査を行います。本研究で患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター TEL: 072-252-3021、FAX: 072-251-1372

内科 園延 尚子

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。（当院ホームページに掲載）